

はーと・シップ

vol.26

Communication Paper For Everyone Live In ONO * HEART SHIP

※「はーと・シップ」はハートフルシティとパートナー・シップを合わせて小野市の男女共同参画を表す愛称としています。

10周年記念事業報告

平成26年 11/22 (土)

さらなる明日に向けて

つなげよう ふみだそう ここから

◆◆ 基調講演 ◆◆

「自分らしく生きる～風通しのいい関係を～」

講師：伊藤 公雄 さん
(京大大学院文学研究科教授)



‘男らしさ’などユニークな男性問題の研究で知られる伊藤公雄さんを講師にお迎えし、ご講演をいただきました。

はじめに、様々なデータを用いながら、経済や政治、労働や教育などにおける、「世界の中での日本の男女平等」に関する現状について解説されました。

次に、「今なぜ男女共同参画が必要なのか」という点について述べられ、少子高齢社会という大きな課題に対応していくためにも、男女で支える社会に転換することが必須であり、さらに、女性の参画は経済・社会の活性化にもつながると強調されました。

「男である、女であるというのは人格の中の一つの要素に過ぎない。男と女は別という2色刷り社会から、ひとりひとりの多様性を大切にすると多色刷りの社会をめざしたいですね」としめくられました。基調講演参加者からは、

「数字やデータにより、日本の現状がよく分かった」

「考えさせられた一日だった」

「男女共同参画が社会の向上につながる事が理解できた。」

などのアンケートが寄せられ、センター10周年という節目の年に、『男女共同参画とは何か?』『男女共同参画の必要性とは?』ということに改めて見つめ直し、さらなる明日に向けて、一歩をふみだすための時間となりました。



心あったか人権ポスター・三行詩 表彰式



東北物産展



受付



ピアノによるウェルカム演奏



心あったか人権ポスター
三行詩作品展

主催：10周年記念事業実行委員会・小野市・小野市男女共同参画センター・
特定非営利活動法人北播磨市民活動支援センター

さらなる明日に向けて つなげよう ふみだそう ここから



基調講演終了後は、4つの分野に分かれ、分科会が開催されました。「自治会役員女性参画」「教育」「防災・減災」「人権」

分科会① 自治会役員女性参画

10周年記念事業実行委員会

「女性の視点が 地域を変える」

講師
荻野 美恵子さん
・丹波市市島町市島 自治会長
・丹波市市島町吉見地区自治振興会
地域コミュニティ活動推進員

コーディネーター
勝木 洋子さん
・神戸親和女子大学発達教育学部
児童教育学科 教授
・小野市男女共同参画推進市民会議アドバイザー



丹波市市島町市島で二期目の自治会長を務めておられる荻野美恵子さんは、「昔からの慣習が根付いていて、世代間のつながりが少ないこの地域の人々の意識を変えたい」という思いから、規約の改正に伴い依頼を受けたのを機に、自治会役員になられました。女性目線での観光マップの作成や、人権講演会と音楽演奏のコラボなど、常に幅広い世代の人たちを巻き込んで楽しめるような取り組みをされています。

特に子どもたちには「家族と生活している間に根っこのある居場所づくりをして、地域の良さを体験してほしい。進学や就職でこの地を離れても帰れる所がある人に育ってほしい。」との願いを持って臨まれています。

また、「多様な活動により、世代間の交流が生まれ、昨年9月の災害時にも団結して乗り越えられる地域力が育まれたことを実感した。」と話されました。「一人じゃない。周りの人の助けもある。だから、私も自治会長を務められている。女性だってできるよ!」力強いお言葉が印象的でした。

<参加者の声>

- ・性別は関係ない、やるかやらないかだなあと感じました。人としてのあたたかさ、ふるさとへの愛情。そんなものをたくさん感じることができ、感動いたしました。
- ・ひょんなことから自治会役員を引き受けることになりこの機会を大事にしたいと思います。



分科会② 教育

男女共同参画教育推進員 / 10周年記念事業実行委員会

「原点回帰 ~ 今さらきけない 男女共同参画」

講師
池田 啓子さん
・兵庫教育文化研究所 副所長

コーディネーター
中村 和子さん
・小野市立来住小学校 校長



はじめに、3種類のシナリオ「女子が応援団長になる?」「リーダーは男性?」「男子だから?」を読み、その中で感じた疑問について各グループでディスカッションを行い、その後、学校現場における男女共同参画に関する課題と解決策について話し合いました。それぞれのグループでは活発な意見交換があり、

「普段何気なく子どもたちに声をかけていることも『決めつけ』をしてしまっていることがあるのではないか?」

「日常の中でいかにアンテナを高く持つかということ、また多面的に物事を捉えることが大切だと感じた」といった声が聞かれました。

引き続き、講師の池田啓子さんからは、各地の教育現場における男女共同参画に関する取り組みが紹介され、「教職員をはじめ、大人が子どもに寄り添って後押しすることで、子どもたちは『自分が声をあげることで物事を変えられる!』という体験ができる。小さな頃からそのような成功体験を積み重ねることは非常に大切。」と述べられました。



分科会③ 防災・減災

女性団体連絡協議会 / 小野商工会議所

「突然はじまる避難所生活 そのとき私にできること」

講師
菅野 将志さん
・特定非営利活動法人生涯学習サポート兵庫 事務局次長
・特定非営利活動法人ワカモノヂカラプロジェクト 事務局長
・地域コミュニティデザイナー
・災害支援コーディネーター

東日本大震災以降、被災地支援を続けておられる菅野将志さんから防災グッズの紹介や、避難所生活の実態などをうかがいました。市販されている防災グッズであれば説明書を読み一度使ってみること、また家庭環境にあわせた防災バッグを準備することの大切さも教えていただきました。

《わが家の防災バッグ》リュックの中に入れておくと役立つもの☆

- ◆リュックサック
ポケットがたくさんついた、登山用などのしっかりしたものを用意するのがベスト。
- ◆ラップ
体に巻いて保温対策。お皿に被せて洗いの削減に。
- ◆10円玉
災害時に繋がるのは公衆電話!
- ◆新聞紙
折りたたんで、トイレやスリッパ、防災頭巾に。

身近な物でも工夫次第で防災グッズになります!

『現地での支援だけではなく、遠く離れていてもできる支援がある』という言葉聞き、これからも私たちにできる支援を続けていきたいと思いました。

当日皆さまからいただいた「募金」と、「東北物産展の収益金」をNPO法人せんだいファミリーサポートネットワークにお送りしました。ご厚意いただき、ありがとうございました。



備蓄品展示(市防災グループ協力)

分科会④ 人権

小野市人権教育研究協議会

「心あったかフォーラム」

~ONOIじめ等防止ウィーク(11/17~11/22)関連事業~



小野市内中学生4名の人権作文入賞者による発表。うち3名が身近な人の障がいについて、そして1名が修学旅行での平和学習で感じた事についての発表でした。

自分の身近なきょうだいや友だちの障がいを最初は認めにくかったけれど、一緒に生活する中で葛藤しながらも認め、そして前向きに自分もがんばろうという気持ちが伝わってきました。戦争体験について学習した生徒は、沖縄の壕の中での戦争の悲惨な出来事を聞き、戦争は嫌だと訴えること、それを未来に伝え続けることを決意されていました。

様々な体験を糧として、心が大きく深く成長されたことを感じました。これからもたくさんの体験を重ねて、あたたかな心がますます社会全体に広がっていくことを期待します。

中学生の「人を思う気持ち」や「平和への思い」などが強く響いてくるフォーラムでした。

<参加者の声>

- ・中学生の発表、素晴らしかった。人を思う心、平和への想い、深くやさしい思いやりいっぱい心の心を感じました。



「コアラハッピーベル」の皆さんによるベル演奏

小野市男女共同参画センター「はーと・シップ」

小野市男女共同参画センター情報誌「はーと・シップ」は、2002年の発行から、現在26号まで続いています。(2015年2月現在)それぞれの号で、さまざまな話題が取り上げられています。



無料相談窓口案内

◎市外の相談窓口もご利用いただけます。

実施機関	種類	所在地	電話番号	実施日時
小野市男女共同参画推進グループ	女性のためのさまざまな相談	小野市中島町72 小野市うるおい交流館エクラ内	電話相談 0794-63-8250 (随時)	木曜日 9:30~11:30
			面接相談 //	木曜日 13:00~16:00
※託児ご希望の方は、ご相談ください。				
北播磨総合医療センター	女性のための医療専門相談	小野市市場町926-250北播磨総合医療センター内	面接相談 0794-88-8800 (予約制)	木曜日 13:30~16:00
小野市ヒューマンライフグループ	いじめ等相談(ONOまわりほっとライン)	小野市役所内	電話・面接相談 0794-62-4110 (随時)	月~金曜日 9:00~17:00
兵庫県立男女共同参画センター	女性のためのなやみ相談	神戸市中央区東川崎町1-1-3 (神戸クリスタルタワー7階)	電話相談 078-360-8551	月~土曜日 9:30~12:00 13:00~16:30
			面接相談 078-360-8554 (予約制)	月~金曜日 11:00~18:40 土曜日 9:20~16:50
	電話相談 078-360-8553		原則第1・3火曜日 17:00~19:00	
	電話相談 078-360-1388		第1・3土曜日 10:00~16:00	
兵庫県「悩みのホットライン」	DV等女性の悩み相談	—	電話相談 078-732-7700 (随時)	毎日 9:00~21:00
日本司法支援センター(法テラス)	法的トラブルに関する情報提供	—	電話番号 0570-078374	平日 9:00~21:00 土曜日 9:00~17:00

本誌に対するみなさまの率直なご意見や感想をお聞かせください。
ハガキ、ファックス、Eメールで受付しています。

■事務局 小野市男女共同参画センター(特定非営利活動法人北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラ
TEL 0794-62-6765 FAX 0794-62-2400
URL <http://www.ksks-arche.jp/danjo/> E-mail: danjo@ksks-arche.jp